

平成30年度 研究力強化のための学内公募プログラム募集要項

文部科学省研究大学強化促進事業

研究戦略イニシアティブ推進機構

本学における国内外との共同研究実施・国際共著論文等の研究成果発信を促進するため、下記プログラムを実施します。

- I 海外共同研究促進のための短期渡航支援プログラム・・・ 3ページ
- II セミナー・ミニシンポジウムスタートプログラム・・・ 5ページ
- III 若手研究者中短期海外派遣プログラム・・・・・・・・・・・・ 7ページ
- IV オンリーワン共同研究開拓プログラム・・・・・・・・・・・・ 9ページ

※I - IV共通事項：I - IVのいずれかに応募した者はオプションプログラム「論文投稿・掲載支援プログラム」本募集要項内P11に応募可能です。

※また、IIIIVのいずれかに応募した方は別紙「研究加速型研究支援プログラム」に応募可能です。別紙参照し応募を検討ください。

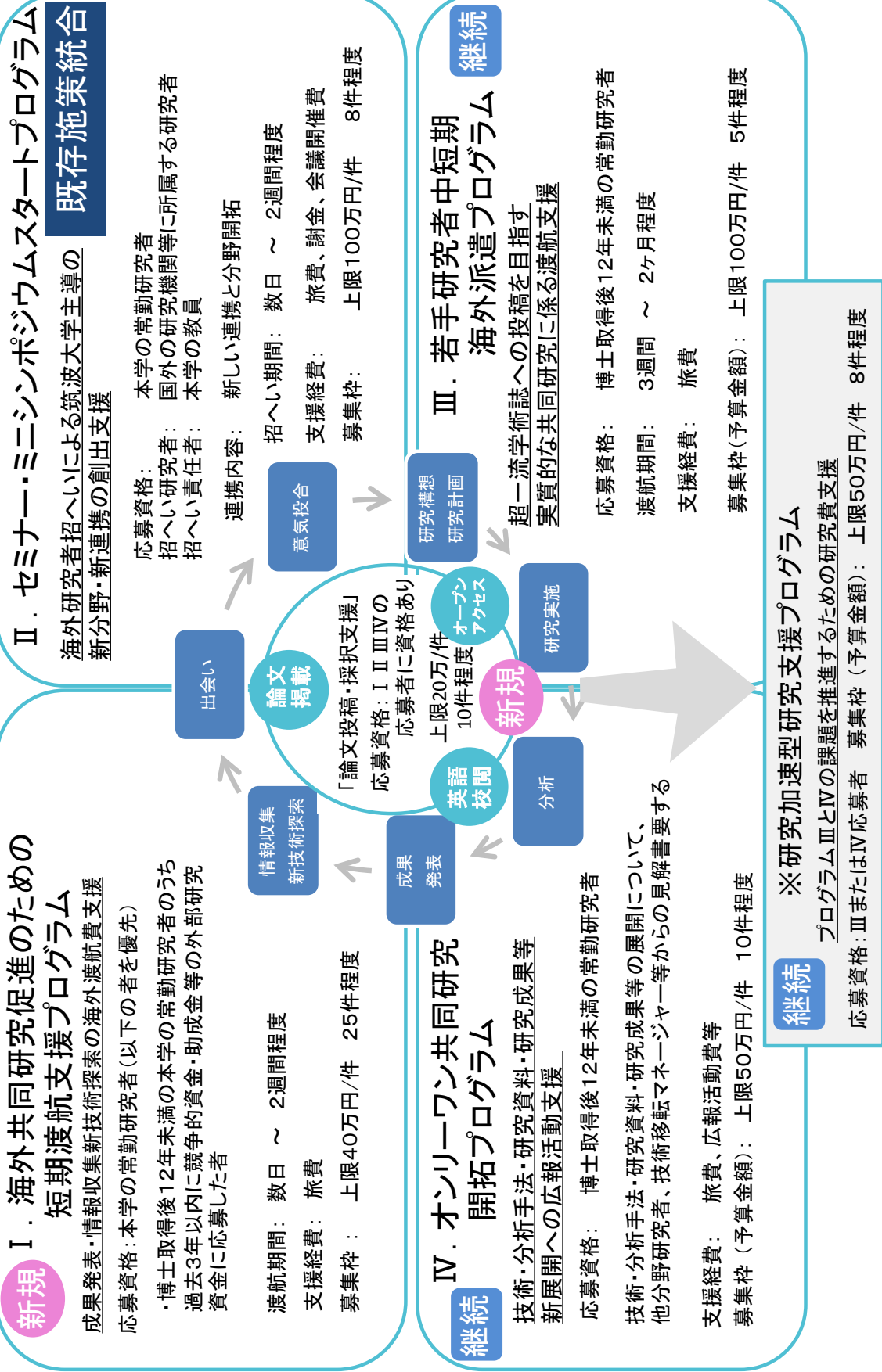
(注意事項)

1. 本プログラムは平成27年度および平成29年度に行われた研究担当副学長、URA研究戦略推進室長等と各系の若手研究者との懇話会、および平成29年度末に実施された研究環境改善に関するアンケートに対応する施策です。
2. 本プログラムで支援する経費の使途は、研究大学強化促進事業及び学内規程に従うものとします。また、本プログラムで支援する経費は、研究費には充当できません。
3. 本プログラムの支援対象は、平成30年4月1日～平成31年2月1日(金)までに実施完了するものとします。既に実施中・実施済のものについても、プログラム内容に合致すれば応募可能です。なお、選考は新規提案事項を優先し、実施中・実施済のものは次点とします。
4. 本プログラムの選考は「筑波大学ダイバーシティ基本理念・基本計画」の理念方針を考慮します。また、同一研究者からの複数プログラムへの応募は可としますが、応募状況によっては選考で採択数について調整がなされる場合があります。
5. 各プログラム終了後1ヶ月以内に実施報告書の提出を求めます。また、実施後複数年フォローアップ調査期間を設け、採択者報告会等での発表や書面での研究の進捗・発展状況についてご報告をお願いすることがあります。さらに、文部科学省の評価等により必要が生じた場合は、追加の報告を求められます。

概要版

新しいチャレンジで海外研究機関との共同研究促進と共著論文作成へ

詳細ページURL: <http://ura.sec.tsukuba.ac.jp/archives/16480>



I 海外共同研究促進のための短期渡航支援プログラム

1. 趣旨

本学の研究者が最新技術や最先端の知見を持ち合わせている海外研究機関を訪問、学会等に参加することで将来の共同研究を開拓することを目的とします。

また、単なる学会参加、研究機関訪問でなく訪問先での人脈作りに寄与し、将来的な共同研究を促進する提案も支援します。

2. 渡航研究者（申請者）の資格

平成30年度を通して本学に身分のある常勤研究者。

以下の条件を満たす者を優先的に採択します。

- ・博士号取得後12年未満（平成30年4月1日時点）の准教授、講師、助教、特任助教、研究員、博士特別研究員、博士研究員、特任研究員などのうち次を満たす者
- ・過去3年以内に競争的資金・助成金等の外部研究資金への応募経験があるもの（採否は問わない）もしくは現在保持している者

※運営費交付金・その他外部資金により雇用されている研究員等については、当該申請内容等について、拠点長や中心研究者、雇用者（受入教員）等から申請の許可を得てください。

3. 派遣期間

原則数日～2週間程度（平成31年2月1日（金）までに完了するものとします。）

注：派遣時期を設定する際には査証取得の期間を考慮してください。

4. 支給経費とその取扱い

支給経費：旅費（支援額は、地域や期間を勘案して1件あたり：上限40万とします。不足分は申請者が自己研究費などで別途補填してください。）
学内規程に従って申請金額を算出してください。

取扱い：選考により認められた支援額を部局に概算配分し、部局にて執行していただきます。執行後にその使用実績を報告し、残金があれば返納していただきます。報告・返納の手順については採択後にご案内いたします。

5. 募集枠

25件程度

6. 応募書類

- (1) 平成30年度海外共同研究促進のための短期渡航支援プログラム申請書（様式1）
- (2) 渡航先機関・渡航先学会・研究会または渡航先研究者から承諾文書（電子メール可）

7. 応募方法

渡航希望研究者（申請者）が応募書類を作成してください。作成した応募書類は、所属の支援室等を経由し「12. 応募書類の提出及び問い合わせ先」に提出してください。

8. 応募締切 第1次応募：平成30年10月1日（月）

9. 選考等

選考は研究戦略イニシアティブ推進機構が行います。選考結果については締切日の翌月上旬頃までに通知する予定です。なお、選考は次の点について審査します。

- ・ 渡航目的と訪問先での活動計画
- ・ 渡航期間中の活動計画（情報収集・成果発表等）の妥当性
- ・ 期待される効果（提案する活動計画から新たな研究連携・共同研究など）の可能性。

10. 変更又は中止

やむを得ない事由により、申請後並びに採択後に計画の変更又は中止せざるをえなくなった場合には、直ちに「12. 申請書類の提出及び問い合わせ先」に報告してください。

11. 実施報告書

プログラム終了後1ヶ月以内に、所属する支援室等で取りまとめの上、実施報告書を提出していただきます。報告書の様式は採択後に送付いたします。また、実施後フォローアップ調査期間、報告会などを設けますので、研究の進捗・発展状況についてご報告をお願いします。

12. 応募書類の提出及び問い合わせ先

URA 研究戦略推進室・担当：宮久保、栗原、加藤
・ 電子メール：uketsuke1@un.tsukuba.ac.jp・内線：3856、4453、4543

Ⅱ セミナー・ミニシンポジウムスタートプログラム

1. 趣旨

国内外の大学・研究機関等の研究者を本学に招へいし、本学主導の新しい研究連携・研究分野を創出することを目的とします。本目的のためのセミナー・ミニシンポジウム等への招へいに係る経費を支援します。

2. 本プログラムの申請者・招へい研究者の資格

申請者：本学の常勤研究者（教授、准教授、講師、助教、特任助教、研究員、博士特別研究員、博士研究員、特任研究員など）

※運営費交付金・その他外部資金により雇用されている研究員等については、当該申請内容等について、拠点長や中心研究者、雇用者（受入教員）等から申請の許可を得てください。

招へい研究者：原則として国外の大学・研究機関等に所属する研究者とします。
（国内からの招へい研究者がいる場合は顕著な研究業績があるものに限る。）

3. セミナー・ミニシンポジウム等における支援対象の招へい期間

数日以内～2週間程度を原則とし、平成31年2月1日（金）までに完了するものとします。国・地域又は招へい期間によって査証が必要になることがあるので、招へい時期を設定する際には査証取得の期間を考慮してください。

4. 支給経費及びその取扱い

支給経費：旅費及び謝金、会議開催経費（支援額は、1件あたり100万円を上限とします。不足分は自己研究費などで別途補填してください。）
学内規程に従って申請金額を算出してください。

取扱い：選考により認められた支援額を部局に概算配分し、部局にて執行していただきます。執行後にその使用実績を報告し、残金があれば返納していただきます。報告・返納の手順については採択後にご案内いたします。

5. 招へい責任者

招へい責任者：本学の常勤教員（教授、准教授、講師、助教、特任助教など）

※申請者が研究員等本学の教員でない場合については、本セミナー・ミニシンポジウム等における招へいの責任者として、本学の教員を招へい責任者とし記入してください。

6. 募集枠

8件程度

7. 応募書類

(1) 平成30年度 セミナー・ミニシンポジウムスタートプログラム申請書（様式2）

(2) 招へい研究者調書（様式3）

(3) 招へいに関して、候補者の内諾が確認できる文書（電子メールのコピー可）

8. 応募方法

申請者は招へい責任者の了承を得て応募書類を作成してください。作成した応募書類は、所属の支援室等を経由し「13. 応募書類の提出及び問い合わせ先」に提出してください。

9. 応募締切 第1次応募：平成30年10月1日（月）

10. 選考等

候補者の選考は研究戦略イニシアティブ推進機構が行います。選考結果については締切日の翌月上旬頃までに通知する予定です。なお、選考審査は次の点について審査します。

- ・提案企画するセミナー・ミニシンポジウムの目的（目的の明確性）
- ・提案企画するセミナー・ミニシンポジウムの内容
（独自性、新たな連携・研究分野の構築）
- ・将来的な波及効果と共同研究の可能性

※評価委員の評価により、申請計画を改善した上で採択することもあります。

11. 変更又は中止

やむを得ない事由により、申請後並びに採択後に計画の変更又は中止せざるをえなくなった場合には、直ちに「13. 申請書類の提出及び問い合わせ先」に報告してください。

12. 実施報告書

プログラム終了後1ヶ月以内に、所属する支援室等で取りまとめの上、実施報告書を提出して頂きます。報告書の様式は採択後に送付いたします。また、実施後フォローアップ調査期間を設けますので、研究の進捗・発展状況についてご報告をお願いします。

13. 応募書類の提出及び問い合わせ先

URA 研究戦略推進室・担当：宮久保、栗原、加藤

・電子メール：uketsuke1@un.tsukuba.ac.jp・内線：3856、4453、4543

Ⅲ 若手研究者中短期海外派遣プログラム

1. 趣旨

本学の若手研究者が最新技術や最先端の知見を持つ海外の研究機関等で共同研究を行うための渡航・滞在費を支援し、質の高い国際共著論文等（国際会議論文を含む）の投稿・出版につなげることを目的とします。

国際会議発表が主な目的である渡航など、実質的な共同研究や国際共著論文作成に係る活動を目的としない申請は審査対象となりません。

2. 派遣研究者（申請者）の資格

博士号取得後 12 年未満の平成 30 年度を通して、本学に身分がある常勤研究者（准教授、講師、助教、特任助教、研究員、博士特別研究員、特任研究員など）のうち次を満たす者

- ・過去 3 年以内に競争的資金・助成金等の外部研究資金への応募経験がある者（採否は問わない）もしくは現在保持している者

※運営費交付金・その他外部資金により雇用されている研究員等については、当該申請内容等について、拠点長や中心研究者、雇用者（受入教員）等から申請の許可を得てください。

3. 派遣期間

原則 3 週間～3 ヶ月程度

いずれも平成 31 年 2 月 1 日（金）までに完了するものとします。

注：派遣時期を設定する際には査証取得の期間を考慮してください。

4. 支給経費とその取扱い

支給経費：旅費（支援額は、地域や期間を勘案して 1 件あたり：上限 100 万円とします。不足分は申請者が自己研究費などで別途補填してください。）
学内規程に従って申請金額を算出してください。

注意）本資金は研究費として使用することはできません。共同研究に向けた研究加速のための研究費が必要な場合には本プログラムと合わせて「研究加速型研究支援プログラム」へご応募ください。

取扱い：選考により認められた支援額を部局に概算配分し、部局にて執行していただきます。執行後にその使用実績を報告し、残金があれば返納していただきます。報告・返納の手順については採択後にご案内いたします。

5. 募集枠

5 件程度

6. 応募書類

- (1) 平成30年度若手研究者中短期海外派遣プログラム申請書（様式4）
- (2) 渡航機関または渡航先研究者からの承諾文書（電子メールのコピー可）

7. 応募方法

渡航希望研究者（申請者）が応募書類を作成してください。作成した応募書類は、所属の支援室等を経由し「12. 応募書類の提出及び問い合わせ先」に提出してください。

8. 応募締切 第1次応募：平成30年10月1日（月）

9. 選考等

候補者の選考は研究戦略イニシアティブ推進機構が行います。選考結果については締切日の翌月上旬頃までに通知する予定です。なお、選考は以下の点について考慮します。

- ・派遣の目的
（派遣先での共同研究目的とその明確性）
- ・提案する共同研究の内容
（共同研究の新規性および独自性、新たな共同研究や研究連携への可能性）
- ・期待される効果について
（提案する共同研究から質の高い国際共著論文等成果が期待できるか。）

10. 変更又は中止

やむを得ない事由により、申請後並びに採択後に計画の変更又は中止せざるをえなくなった場合には、直ちに「12. 申請書類の提出及び問い合わせ先」に報告してください。

11. 実施報告書

プログラム終了後1ヶ月以内に、所属する支援室等で取りまとめの上、実施報告書を提出して頂きます。報告書の様式は採択後に送付いたします。また、実施後フォローアップ調査期間を設けますので、研究の進捗・発展状況についてご報告をお願いします。

12. 応募書類の提出及び問い合わせ先

URA 研究戦略推進室・担当：宮久保、栗原、加藤
・電子メール：uketsuke1@un.tsukuba.ac.jp・内線：3856、4453、4543

IV オンリーワン共同研究開拓プログラム

1. 趣旨

応募者の持つ独創的・先駆的な研究知見・技術・ツール・研究資料など（オンリーワンシーズ）を国内外の研究コミュニティ（企業を含む）に周知し、発展させることを目的とします。

上記目的のため、将来の共同研究（企業を含む）の開始や応募者の研究論文の引用増加につなげるための国際会議参加費や試作品作成費、メディア等での広報活動費を支援します。

2. 対象

オンリーワンシーズが自身の分野のみならず異なる分野の研究に活用され独創性の高い新たな研究スタイルを生むことや、技術移転されて新たな価値を生むことなどを希望し、保有するオンリーワンシーズについて、学術的・社会的に周知活動を企図している研究者

用途例：オンリーワンシーズを新聞や学術雑誌等で広報するための特集記事掲載料、広告出稿料、展示会への参加費、展示会出展料、ワークショップ開催費、広報活動のための旅費（共同研究実施に向けた活動や成果発信のための学会参加旅費を含む）、パネル・パンフレット・Web サイト・動画など広報資料の作成料のための各種資料英文校正費など

注意）本資金は研究費として使用することはできません。共同研究に向けた研究加速のための FS 等に研究費が必要な場合には本プログラムと合わせて「研究加速型研究支援プログラム」へご応募ください。

3. 支援内容・期間

(1) 支援額 50万円／件を上限とする

※ 支援額は、予算等の都合等により減額する場合があります。

※ 選考により認められた支援額を部局に概算配分し、部局にて執行していただきます。執行後にその使用実績を報告し、残金は返納してください。なお、報告・返納 の手順については採択後に案内します。

(2) 支援期間 採択時から平成31年2月1日まで

4. 申請者の資格

博士号取得後12年未満の本学に身分がある常勤研究者（准教授、講師、助教、特任助教、研究員、博士特別研究員、特任研究員など）または研究グループ

※ 運営費交付金・その他外部資金により雇用されている研究員等については、当該申請内容等について、拠点長や中心研究者、雇用者（受入教員）等から申請の許可を得てください。

5. 募集枠

10件程度

6. 応募書類

- (1) オンライン共同研究開拓プログラム申請書（様式5）
- (2) シーズの内容を分かり易く説明したパワーポイントの資料（ポンチ絵1頁以内）

7. 応募方法

申請者は、様式5を記入し、「4. 当該オンラインシーズンについての他者による見解」他分野の研究者、技術移転マネージャーなどの研究支援者などに作成を依頼してください。作成・提出が難しい場合は任意とします。応募書類は所属の支援室経由し、12. 応募書類の提出及び問い合わせ先へ提出してください。

8. 応募締切

- (1) 第1次応募：平成30年10月1日（月）

9. 選考等

シーズの選考は研究戦略イニシアティブ推進機構が行います。選考結果については締切日の翌月上旬頃までに通知する予定です。なお、選考は次の点について考慮します。

- ・シーズの独創性・先駆性
（技術要素・技術特性、機能・効能などの優位性、提案する使用用途）
- ・目指す成果の学術的/社会的インパクト
（シーズの活用目的と使い道の発展性、提案する活動や成果のインパクト）
- ・本資金にて計画している活動内容
（提案する活動は引用増加や共同研究に繋がるか）

10. 変更又は中止

やむを得ない事由により、申請後並びに採択後に計画の変更又は中止せざるをえなくなった場合には、直ちに「12. 申請書類の提出及び問い合わせ先」に報告してください。

11. 実施報告書

プログラム終了後1ヶ月以内に、所属する支援室等で取りまとめの上、実施報告書を提出していただきます。報告書の様式は採択後に送付いたします。また、実施後フォローアップ調査期間を設けますので、研究の進捗・発展状況についてご報告をお願いします。

12. 応募書類の提出及び問い合わせ先

URA 研究戦略推進室・担当：宮久保、栗原、加藤
・電子メール：uketsuke1@un.tsukuba.ac.jp・内線：3856、4453、4543

※オプショナルプログラム「論文投稿・採択支援プログラム」

1. 趣旨

本学全体の国際共同研究・国際共著論文の増加および研究者の研究環境整備の一つの施策として、英文校閲料、論文掲載料、オープンアクセス料を支援します。

2. 申請者の資格

平成 30 年度の以下プログラムに応募している者

- I 海外共同研究促進のための短期渡航支援プログラム
- II ミニセミナー・シンポジウムスタートプログラム
- III 若手研究者中短期海外派遣プログラム
- IV オンライン共同研究開拓プログラム

3. 対象

- ①Nature Index に使用されている 82 の論文誌（以下参考 URL および巻末参考資料）への投稿
- ②人文社会系等の研究分野については Scopus に収録している論文誌への投稿

参考 URL:<https://www.natureindex.com/news-blog/visions-to-the-nature-index>
参考 URL:

https://www.elsevier.com/_data/assets/excel_doc/0015/91122/ext_list_April_2018_2017_Metrics.xlsx

4. 支給経費とその取扱い

支給経費 : 論文投稿料・掲載料・英文校閲料・オープンアクセス料（支援額は、1 件あたり：上限 20 万とします。不足分は申請者が自己研究費などで別途補填してください。）

学内規程に従って申請金額を算出してください。

取扱い : 選考により認められた支援額を部局に概算配分し、部局にて執行していただきます。執行後にその使用実績を報告し、残金があれば返納していただきます。報告・返納の手順については採択後にご案内いたします。

5. 募集枠

10 件程度（変動有）

6. 応募書類

- (1) 論文投稿採択支援プログラム申請書（様式 6）

7. 応募方法

作成した応募書類は、所属の支援室などを經由の上「13. 応募書類の提出及び問い合わせ先」へ提出してください。

8. 応募締切

(1) 第1次応募：平成30年10月1日（月）

9. 選考等

各プログラムで採択された提案の内、予算の施行状況にあわせ採択されます。

本プログラムの結果通知は、他のプログラムの採否通知後、1ヵ月後を目処に通知を予定しています。

(人文社会系などの研究分野については10件の内最大2件までを予定)

10. 変更又は中止

やむを得ない事由により、申請後並びに採択後に計画の変更又は中止せざるをえなくなった場合には、直ちに「12. 申請書類の提出及び問い合わせ先」に報告してください。

11. 実施報告書

プログラム終了後に、所属する支援室等で取りまとめの上、実施報告書を提出して頂きます。報告書の様式は採択後に送付いたします。また、実施後フォローアップ調査期間を設けますので、研究の進捗・発展状況についてご報告をお願いします。

12. 応募書類の提出及び問い合わせ先

URA 研究戦略推進室・担当：宮久保、栗原、加藤

・電子メール：uketsuke1@un.tsukuba.ac.jp・内線：3856、4453、4543

Journal list

1	ACS Nano	43	Monthly Notices of the Royal Astronomical Society Letters
2	Advanced Functional Materials	44	Nano Letters
3	Advanced Materials	45	Nature
4	American Journal of Human Genetics	46	Nature Biotechnology
5	Analytical Chemistry	47	Nature Cell Biology
6	Angewandte Chemie International Edition	48	Nature Chemical Biology
7	Applied Physics Letters	49	Nature Chemistry
8	Astronomy & Astrophysics	50	Nature Climate Change
9	Cancer Cell	51	Nature Communications
10	Cancer Research	52	Nature Genetics
11	Cell	53	Nature Geoscience
12	Cell Host & Microbe	54	Nature Immunology
13	Cell Metabolism	55	Nature Materials
14	Cell Stem Cell	56	Nature Medicine
15	Chemical Communications	57	Nature Methods
16	Chemical Science	58	Nature Nanotechnology
17	Current Biology	59	Nature Neuroscience
18	Developmental Cell	60	Nature Photonics
19	Earth and Planetary Science Letters	61	Nature Physics
20	Ecology Letters	62	Nature Structural & Molecular Biology
21	eLife	63	Neuron
22	Environmental Science & Technology	64	Organic Letters
23	European Physical Journal C	65	Physical Review A
24	Genes & Development	66	Physical Review B
25	Genome Research	67	Physical Review D
26	Geochimica et Cosmochimica Acta	68	Physical Review Letters
27	Geology	69	Physical Review X
28	Geophysical Research Letters	70	PLOS Biology
29	Immunity	71	PLOS Genetics
30	Inorganic Chemistry	72	Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America
31	Journal of Biological Chemistry	73	Proceedings of the Royal Society B
32	Journal of Cell Biology	74	Science
33	Journal of Clinical Investigation	75	Science Advances
34	Journal of Experimental Medicine	76	Science Translational Medicine
35	Journal of Geophysical Research: Atmospheres	77	The Astrophysical Journal Letters
36	Journal of Geophysical Research: Solid Earth	78	The EMBO Journal
37	Journal of High Energy Physics	79	The ISME Journal: Multidisciplinary Journal of Microbial Ecology
38	Journal of Neuroscience	80	The Journal of Physical Chemistry Letters
39	Journal of American Chemical Society	81	The Plant Cell
40	Macromolecules	82	Water Research
41	Molecular Cell		
42	Molecular Psychiatry		